



▲シンプルで高機能な「地域の消防力を最大化する庁舎」をコンセプトに建てられた西分署

昭和47年に運用を開始してから約50年が経過し、施設老朽化などの影響により建替工事が進められていた伊達地方消防組合中央消防署西分署が完成し、落成式が7月30日、現地で行われました。式では、高橋町長が「施設・設備の充実・強化が図られたことは大変心

強く、変わらぬ活躍に期待する」と所在地代表者あいさつを述べました。これまでと同じ敷地内に建てられた新庁舎は、非常用発電施設や給水設備などの機能充実を図り、あらゆる状況にも対応できる防災拠点として生まれ変わりました。

生まれ変わる防災拠点 新しい中央消防署西分署が完成



1_ 高橋町長に目録を手渡す福田社長（右） 2_ 自社の取り組みや町での事業展開を熱く語る福田社長（左）

株式会社フクダ・アンド・パートナーズによる企業版ふるさと納税の寄附贈呈式が8月2日、役場で行われ、福田哲也代表取締役社長が「町の農業振興の発展に役立ててほしい」と高橋町長に目録を手渡ししました。同社は、主に環境配慮型の物流・商業施設開発な

どを展開するほか、国や自治体と連携し、再生可能エネルギーを活用した防災拠点の整備、社会インフラ整備など、次世代へつなげる社会貢献を行っています。福田社長は「桑折町でも関係企業と連携し、地域振興や農業振興などに貢献したい」と力強く話しました。

企業版ふるさと納税寄附300万円 (株)フクダ・アンド・パートナーズ



▲グループに分かれ、それぞれの取り組み状況を発表し合う参加者の皆さん

ウォーキングチャレンジ参加者向けのミニイベント「Café de Aruk」が7月20日、やすらぎ園で開かれ、約20人が参加しました。

参加者らは、コーヒーや栄養士が作った桃ゼリーなどを楽しみながら、それぞれのウォーキングチャレンジの取り組み状況などを共有しました。また、本事業を協働で実施する花王株式会社の担当者による「歩く習慣の重要性」をテーマとした講演を実施。歩行の大切さを再確認するとともに、ウォーキングチャレンジへの意欲高揚が図られました。

歩行の大切さを再確認 「Café de Aruk」開催



▲白石局長より感謝状を受け取り気持ちを新たに高橋町長（左）

町は、県が実施する「個人県民税優良市町村知事表彰」で、収納率の向上などが評価されたことにより、県知事から感謝状贈呈を受けました。贈呈式は8月1日、役場で行われ、県北地方振興局の白石孝之局長から高橋町長へ感謝状が手渡されました。

町における県民税の収納率は98・46％と前年度より0・11％上回り、昨年に引き続き7度目の受賞となりました。高橋町長は「小学校での租税教室など、小さいときから税に関して考えてもらう機会を設けている。今後も自主財源確保に尽力する」と話しました。

県知事が町へ感謝状 個人県民税優良市町村

広告

広告

広告